

風のてのひら

～南高だより No. 122～
令和4年10月28日発行
発行責任者：長崎県立五島南高等学校
校長 立木 英 邦

「校長室の窓から」

「前期の終了から後期のスタートへ」

～ふるさと教育を通じた地域理解と能力・資質の向上～

10月も中旬を過ぎ、朝晩は肌寒さが感じられるようになり、過ごしやすい季節になりました。まさに、実りの秋を迎えています。学習や部活動、学校行事の充実を図るための絶好の時期になりました。10月1日（火）に後期の始業式を行い、令和4年度の後期がスタートしました。今月末の10月30日（日）に文化祭を実施しますが、2週間から本格的な準備期間にして準備を進めて参りました。文化祭の取組を通して、クラス、学年の仲間、部活動のメンバーで、準備・撤収作業をしたり、作品の作成、練習等に取り組むことによって、生徒は人間的に成長してくれるものと期待をしているところです。保護者の皆様と一部地域・近隣学校の皆様にご案内させていただいております。是非、ご来場いただきご覧いただきますようお願い申し上げます。

前期の終業式を行った10月5日（水）の午前中に、「ふるさと教育中間報告会」を実施しました。岐宿支所の谷川支所長様、五島振興局の赤尾課長様、三宅係長様、内田主事様には、ご多用な中ご出席いただき、谷川様、赤尾様には貴重なご助言をいただきました。ご出席いただきました皆様に、感謝申し上げます。

本校は、総合的な探求の時間を利用して「ふるさと教育」に取り組んでいますが、次の3つの柱からなる資質・能力の向上を目指しています。その1つ目は、「知識・技能」です。簡単に言うと「何を知っているか、何ができるか」ということです。2つ目は「思考力・判断力・表現力等」で、「理解していること・できることをどう使うか」ということです。3つ目は、「学びに向かう力、人間性等」で、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということです。本校では、令和2年度に県の指定事業である「ふるさととの未来を担う高校生育成事業」に取り組みましたが、その際に本校の「ふるさと教育」の「3年間の体系図」と「指導計画書」を完成させ、令和3年度以降も継続した取組を行っています。各学年の目標を次のように掲げています。

○1年次…「Research ～五島を調査・研究する～」

○2年次…「Review ～五島の良さを見直し、課題を考察する～」

○3年次…「Resolve（リゾルブ）～五島の課題を解決する方策を提言する～」

2年生は13の班に分かれて地元五島市内の企業や事業所においてインターンシップに取り組み、貴重な経験をすることができました。生徒を受け入れていただきました企業や事業所には、心から感謝申し上げます。今回の報告会は、2年生が発表し、1、2年生全員で聴くという形態で実施しました。それぞれの班において各企業や事業所の理念や経営方針、業務内容についての詳しい説明があり、また、生徒たちそれぞれが世の中で働くことの「厳しさ」や「やりがい」を感じると同時に、「挨拶」「礼儀」「感謝の気持ちを持つこと」「時間を守ること」「コミュニケーション力を高めること」等の社会規範を守ることの大切さを実感したというような発表が多く班でなされていました。

本校生が「ふるさと教育」を通して学んでいる地元五島には、様々な魅力が隠されています。五島市の沖に、2016年に国内で初めて実用化された「浮体式洋上風力発電機」が1基設置されていますが、これには最先端の技術が搭載されています。この浮体式洋上風力発電施設が今後およそ1年かけて増設されることになり、10月中旬に海上での設置作業が始まりました。年内に3基、来年に5基が設置され2024年1月に商業運転が開始される予定で、出力は8機合わせて1万6800キロワットになるといわれています。五島市内では、2020年から福江商工会議所が中心となり、地元企業も参加して、事業に必要な電力を100%五島市産の再生可能エネルギー（再エネ）で賄う脱炭素化の取り組みを進めてきており、その影響を受けて地域の産業が盛り上がりを見せています。他にも都市部から誘致された企業もいくつかあります。国の事業を取り入れて、データをIT管理して、年間十数億円を売り上げる養豚業者もあります。設立時3人だった社員が50人を越えるようになった風力発電メンテナンス業者もあります。また、この福江島、岐宿、三井楽には、第1次産業の豊富な水産資源や農業資源があります。この岐宿には、古くは遣唐使が立ち寄っていたという歴史があり、また、江戸時代幕末期における福江の石田城完成の歴史もあります。長い歴史の中で、福江島やその周辺の島の人々の営みの中で、生まれ伝えられてきた習わしや地域の産業もあります。こういった五島の魅力が、全国の様々な人々にも伝えられ、過去5年間の五島への移住者は984人という数に上っています。

本校では、今後も「ふるさと教育」の探求学習の充実をはかり、生徒の資質・能力の向上、人間的な成長、地域理解の進化を目指してまいります。保護者の皆さま、地域の皆様には、これまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ふるさと教育 中間報告会

10月5日(水)ふるさと教育中間報告会が行われました。2年生はスライドを用いて夏季休業期間に実施したインターンシップの報告を発表し、1年生は2年生の発表を見て、島内の企業の現状などについて理解を深め、これからの自分たちの取り組みを考える良い機会となりました。質問も多く出て、有意義な発表会となりました。来年の1月にはふるさと教育実践報告会を予定しています。今回の中間報告会の反省を生かして、より良いものにしていきます。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



人生の達人セミナー

10月20日(木)京都大学の渡邊正己名誉教授と松本智裕教授をお招きし、渡邊先生には「特異点の解消」から「得意点の発見」へ、松本先生には「綺麗な水滴になろう」と題して人生の達人セミナーを行っていただきました。先生方がご自身の研究をするに至った話から始まり、そこから生徒の進路を考えるきっかけになる話や、先生方が日頃から大切にしている考え方など、多くのことをお話いただきました。



長崎県総文祭高校写真展で多数の入選！！

長崎県総文祭高校写真展で本校生徒が下記の通り優秀な成績を収めました。また、優良賞にも5名の生徒が選ばれました。最優秀賞を受賞した林田君は来年度行われる全国大会に、優秀賞を受賞した3名は佐賀県で行われる九州大会に出場します。今後の活躍に期待します。これからも応援よろしくお願いします。

【最優秀賞】	1年 林田 敬光	作品名「ゆめみごこち」
【優秀賞】	2年 永井 凜	作品名「受け継がれし記憶」
	3年 藤原 琉凧	作品名「泡沫夢幻」
	3年 石谷 樹莉	作品名「夏の訪れを告げる」

11月



- 2日(水) 犯罪被害者支援センターによる講話
- 8日(火) 一人一鉢運動
- 8～11日 あいさつ運動
- 9日(水) 服装頭髪指導
- 10日(木) 生徒会役員選挙
- 15日(火) 第3回考査時間割発表
- 17日(木) マラソン大会
- 18日(金) 開校記念日
- 22～28日 第3回考査
- 23日(水) 勤労感謝の日、五島地区PTA研修会
- 28日(月) 生徒会役員任命式



ご相談やお気づきがございましたらいつでもご連絡ください。
<五島南高校>

電話 0959-82-0132
FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご加入ください。以下のアドレスに空メールを送ってご登録ください。

gotominami-t@m-mate.com

